



天理大学創立100周年記念

第4回 天理大学・マールブルク大学 共同研究プロジェクト



2025年 10月11-12日 於:天理大学

Encountering Religions: Journeys, Travelogues, and Material Aspects

宗教との 邂逅 旅・紀行・もの

天理大学とマールブルク大学(ドイツ)は、天理大学創設者・中山正善二代真柱のマールブルク訪問を契機とし、現在まで50年以上の交流を続けています。とくに、2006年より天理大学宗教学科が中心となって、天理とマールブルクをお互いに訪問しながら共同研究を進めてきました。今回は第四回目の共同研究プロジェクトとして、創立100周年を迎える天理大学にて「宗教との邂逅―旅・紀行・もの―」というテーマで討議を行い、現代世界における宗教の意味を見つめ直します。(※当日の議論はすべて英語で行ないます)

主催：天理大学人文学部宗教学科
(問い合わせ先: shukyo@sta.tenri-u.ac.jp)

協力：天理大学国際学部英米語学科
天理大学附属おやさと研究所

オープニング・セッション

9:00-10:15 あいさつ

●永尾比奈夫

「資料を通して信仰者と出逢う—宗教への眼差しとバランスの重要性」

セッション1 旅 Journeys

10:30-12:00 (ディスカッサント: 澤井義次)

●バーベル・ベインハウアー・ケルヒャー

「宗教と邂逅し、宗教を媒介する—中世期ムスリム旅行者らの眼差し—」

●岡田正彦

「井上円了の世界旅行と「星界想遊記」—近代国家への憧憬と近代人の神—」

13:30-15:00 (ディスカッサント: 森下三郎)

●ローレント・ミニョン

「クロード・ファレール (1876-1957) の著作に見る日本・トルコ・宗教」

●深谷耕治

「和辻哲郎の『古寺巡礼』再読」

セッション2 紀行 Travelogues

15:15-16:45 (ディスカッサント: 森下三郎)

●フェルディナンド・リフェルト

「文化を探究し、人々とつながる—二代真柱の海外渡航—」

●尾上貴行

「天理教布教師の紀行にみる異宗教間接触—1910年代初期の天理教ロンドン布教を事例として—」

9:15-10:45 (ディスカッサント: 東馬場郁生)

●カティヤ・トリプレット

「天理大学附属天理図書館の初期イエズス会の紀行コレクション—貴重書を通して宗教に出逢うこと—」

●澤井治郎

「パウル・ティリッヒの日本旅行記」

セッション1 もの Material Aspects

11:00-12:30 (ディスカッサント: 堀内みどり)

●ゲアハルト・マーセル・マーティン

「「…そして手足の衝動と疲労を感じる」—現代の宗教的・文化的実践における忘却と身体性の回復—」

●澤井真

「ものがつないだ宗教的邂逅の記憶—天理教とイスラーム—」

13:45-15:15 (ディスカッサント: 島田勝巳)

●ゲアハルト・マーセル・マーティン

「身体—宗教の邂逅における「もの」の一側面」

●岡田正彦

「物質論的転回?—近世初期日本のキリスト教の理解について—」